

エシカルコラム Vol.89 食品ロス



まだ食べられるのに廃棄される食品を食品ロスと言います。国内の年間食品ロス発生量は523万トンと膨大な量です。今月号では、食品ロス削減の必要性和食品ロスの現状について紹介します。

食品ロス削減の必要性和食品ロスの現状

◎食品ロス削減の必要性

なぜ食品ロス削減が必要なのでしょう？

一つ目は、環境問題です。食品を生産、運搬、加工、販売、消費、廃棄する過程で多くのエネルギーが使われ、温室効果ガスが発生しています。食べずに廃棄するということはそれらのエネルギーが無駄になり、地球温暖化の一因になっているということです。

二つ目は、食糧問題です。世界の人口は今後も増加し続け、2050年には100億人になると予測されています。しかし、紛争や気候変動などで食糧増産が追い付かないという予想も出ています。現在でも世界で約8億人が飢餓状態にあると言われている中、食料自給率38%の日本で今後も豊かな食生活が維持できるのでしょうか。今から食品を大切に作る習慣を身に付けておくことが必要ではないでしょうか。

三つ目は、倫理的な問題です。肉、魚、野菜などの食品はいずれも命をいただいて生産されています。私たちの口に入るまでに携わった人々への感謝の気持ちを大切にしたいものです。

◎食品ロスの現状

冒頭で紹介したように、国内で発生している食品ロスは年間523万トン、内訳は事業系279万トン、家庭系244万トン(2021年度)です。これは、国民一人当たり毎日おにぎりを一個捨てている、東京スカイツリーに換算すると約127基分とほぼ同じ重量です。世界との比較では、食品ロスの総量で世界17位とのデータもあります。

国内の食品ロス年間523万トンのうち、家庭から排出される食品ロスは244万トンと半数に近い数字です。このことから、私たちの日常生活でも食品ロス削減に協力できることが見えてきます。それは①余分に購入しない、②材料を使い切る、③食べ残しをしない、④使い切れない食品はフードバンク※に持っていく、などが考えられます。家庭から排出される食品ロスを減らすだけでも大きな効果があります。食品を残さず使って食べ切りましょう。

※フードバンク:規格外や余った食品を受け、福祉施設等へ配給する団体、または活動

(次号に続きます)



はままつくらしの情報



パソコンで警告が出たらサポート詐欺に注意！
— 70歳以上で大幅に増加 —

2024. 5

編集・発行
浜松市くらしのセンター
〒432-8032
浜松市中央区海老塚町5-1-1

【電話相談】

市民相談 457-2025
交通事故相談 457-2233
消費生活相談 457-2205

サポート詐欺とは、パソコンでインターネットを使用中に突然「ウイルスに感染している」等の警告画面や警告音が出て、それらをきっかけに警告画面上に表示されている電話番号に電話をかけさせ、偽のサポートに誘導し、サポート料金を支払わせる手口です。

今月号では、サポート詐欺のトラブル事例と注意点を紹介します。



◆ 事例 修理代100円のはずが・・・

パソコンでインターネットを利用中に突然、大音量の警告音が鳴り「ウイルスに感染した可能性がある」と警告画面が表示された。マイクロソフト社を名乗る電話番号の表示があったので電話をしたところ、外国人らしき人が出て、遠隔操作ソフトをインストールするよう指示され、パソコン内を遠隔操作で見てもらった。相手から「最近、銀行の取引をしたか」と聞かれたので、「インターネットバンキングを利用した」と告げると、ログインするよう指示された。パソコンの修理代として100円を請求されたので、インターネットバンキングの画面で送金額を100円と入力したはずが、遠隔操作によって「0(ゼロ)」を追加され、100万円に変更され送金されてしまった。(70歳代)



◆ ひとことアドバイス

- パソコン利用中に突然警告画面や警告音が出て、慌てて画面に表示されている連絡先に電話をしないでください。
- 警告画面が表示されたり、万が一遠隔ソフトをインストールしてしまっても、ご自身でパソコンの状態を確認しましょう。また、自分で判断できない場合は周りの人に相談しましょう。
- 困った時、不安に思った時、トラブルにあった時は、浜松市くらしのセンター等に相談しましょう。

(浜松市くらしのセンター: 457-2205、消費者ホットライン188)

【参考・引用】発表情報 (2024年3月27日公表) 発行: 独立行政法人国民生活センター



毎年5月はフェアトレード月間、第2土曜日は世界フェアトレード・デーです。フェアトレードは、適正価格で継続的に取引することで、生産者の自立と環境の改善を目指す取り組みです。この機会に、フェアトレードについて調べてみましょう。

浜松市公式ホームページ(<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp>)では、フェアトレードの教育教材、啓発資料、マップなど様々な資料を掲載しています。浜松市は日本で4番目のフェアトレードタウンです。



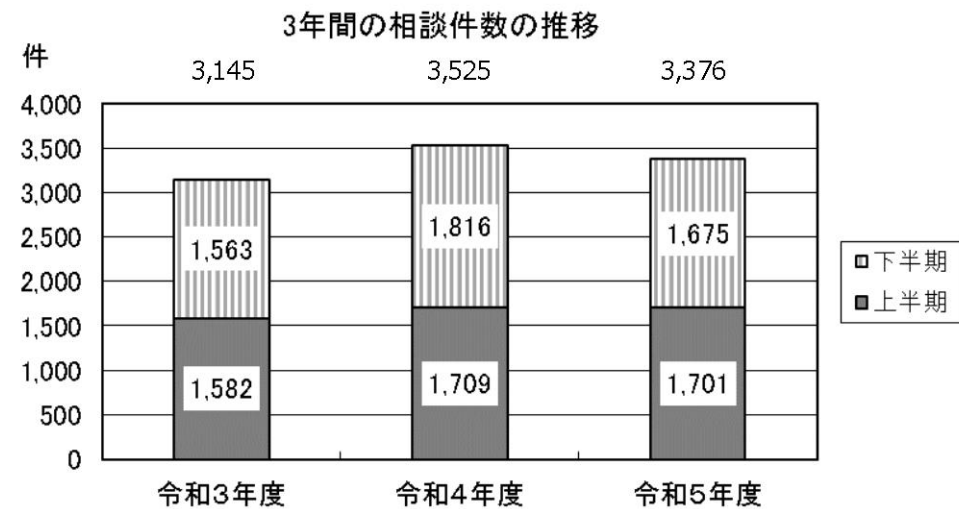
主要生活物資価格調査結果は、総務省統計局が実施している「小売物価統計調査」をご覧ください(<https://www.stat.go.jp/data/kouri/doukou/index.html>)



消費者庁イラスト集より

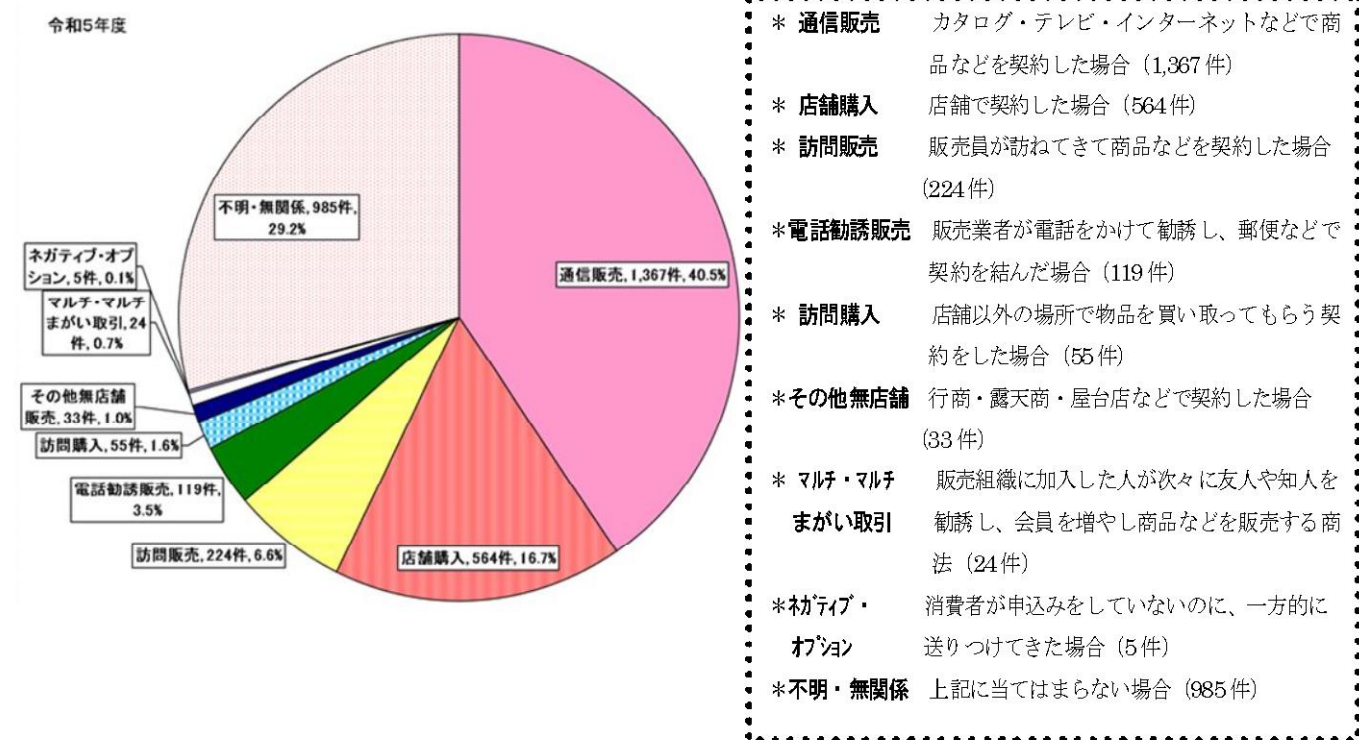
令和5年度 浜松市くらしのセンター消費生活相談の概要

浜松市くらしのセンターで令和5年度に受け付けた相談件数は3,376件で、前年度（3,525件）よりも149件減少（-4.2%）しました。前年同様、定期購入に関する相談が多く寄せられています。また SNS やマッチングアプリで知り合った相手に勧誘された投資でのトラブル相談、SMS やメールでのフィッシング詐欺の相談、中古車購入でのトラブルの相談などが多く寄せられています。

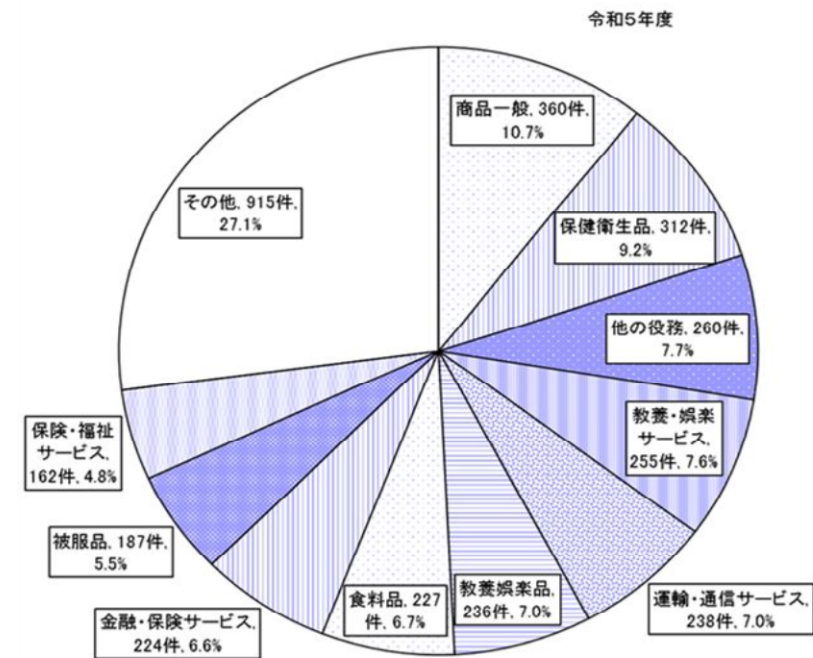


＜販売形態別相談件数＞

販売形態として、通信販売（インターネット、テレビなどの利用によるもの）が1,367件、次いで、店舗購入（携帯電話、車、美容エステなど）が564件、訪問販売（光回線の勧誘、屋根修理など）が224件、電話勧誘販売（健康食品、海産物、光回線など）が119件となっています。不明・無関係は985件で、身に覚えのない請求や不審な電話、メールが含まれています。



＜商品等分類別相談件数＞



商品等分類別では、商品一般（身に覚えのない商品、不審な電話・メールなど）360件と最も多く、次に保健衛生品（化粧品や美容液等の定期購入）が312件、他の役務（求人サイト・広告など）260件、教養・娯楽サービス（オンラインゲーム、副業、出会い系サイトなど）が255件、運輸・通信サービス（光回線変更の勧誘、固定・携帯電話サービスについての相談など）238件と多く、教養娯楽品（電子タバコ、携帯関連機器など）は236件、食料品（サプリメント、健康食品）が227件となりました。

金融・保険サービスについては、FX・暗号資産等の投資詐欺に係る相談、また、保健衛生品、食料品については定期購入に係る相談が多く寄せられています。

＜契約者年代別相談件数＞

若年層ではゲーム課金、SNS やマッチングアプリで知り合った人からの投資勧誘での相談、中年層では定期購入による化粧品やサプリなどの解約の相談、高年層では、身に覚えのない商品や請求、不審な電話やメール等の相談、屋根の修理の訪問販売、不用品回収の訪問購入などが多く寄せられています。

令和5年度 年代別にみた商品等分類相談件数上位3位

表の()内は各年代別に多い具体的な相談内容です。

令和6年3月31日

年 代	1 位	2 位	3 位
20歳未満 (66件)	教養・娯楽サービス(オンラインゲーム、アダルトサイト等) 25件	保健衛生品 (脱毛クリーム、ヘアケア用品等) 9件	※同率3位 商品一般、保健・福祉サービス 各5件
20歳代 (260件)	保健・福祉サービス (脱毛エステ、美容整形等) 43件	教養・娯楽サービス(出会い系サイト、オンラインゲーム等) 37件	他の役務 (副業、不用品回収等) 26件
30歳代 (272件)	教養・娯楽サービス (副業、ゲームアプリ等) 43件	金融・保険サービス (FX、暗号資産等) 29件	教養娯楽品 (携帯関連機器、電子タバコ等) 28件
40歳代 (383件)	保健衛生品 (化粧品、ヘアケア用品等) 42件	教養・娯楽サービス (アダルトサイト、動画配信等) 37件	商品一般 (身に覚えのない商品・請求等) 33件
50歳代 (475件)	保健衛生品 (化粧品、育毛剤等) 58件	商品一般 (身に覚えのない商品・請求等) 42件	運輸・通信サービス (光回線、Wi-Fi等) 37件
60歳代 (510件)	保健衛生品 (化粧品、育毛剤等) 70件	商品一般 (不審な電話・メール・請求等) 55件	食料品 (サプリメント、海産物等) 47件
70歳以上 (721件)	保健衛生品 (化粧品、薬、漢方薬等) 84件	運輸・通信サービス (光回線、固定・携帯電話等) 76件	食料品(サプリメント、健康食品、海産物等) 71件
その他・不明 (689件)	商品一般 (身に覚えのない請求、不審な電話・メール等)115件	他の役務 (求人サイト・広告等) 61件	運輸・通信サービス (光回線、固定・携帯電話等) 55件